3GPP対応フェージングシミュレータ　JEM-59A
Fading Simulator for the Third Generation Partnership Project（3GPP）

1．概要

JEM-59Aは，3rd Generation Partnership Project（以下3GPP）規格にて要求されている電波伝搬路試験条件に合致した擬似電波伝搬路装置であり，NJZ-1600Bマルチパスフェージングシミュレータと NJZ-1610A C/Nシミュレータにより構成されている。

3GPP規格に対応したW-CDMA方式の移動体通信システムは，2001年秋より世界に先駆けて日本にて最初にサービスインが予定されており，JEM-59AはW-CDMA方式に対応した移動体端末機器の耐電波伝搬路の開発・評価試験，工場での出荷検査に必須の装置である。

2．特徴

⑴　3GPP規格の伝搬路条件（3GPP TS34.121 V3.4.0 ANNEX D）をシミュレーション可能。
特に，“ moving propagation ”, “ birth-death propagation ” のシミュレーションでは，信号の瞬断なくプロファイルの切替動作が可能。

⑵　3GPP規格の伝搬路条件にて要求されているAWGN（additive white gaussian noise：付加白色雑音）信号の付加が可能。

⑶　3GPP規格の伝搬路パラメータは，内部メモリにインストールされているため，ワンタッチで読み出し，設定まで可能。

⑷　伝搬路シミュレーション部，AWGN発生部は，各々独立に使用することが可能。

⑸　外部に動作の為の機器，制御機器が不要でありスタンドアローンにて動作可能。

3．仕様

NJZ-1600B マルチパスフェージングシミュレータ

⑴　**動作中心周波数**　：800～3000MHz
⑵　**通過帯域幅**　：20MHz
⑶　**独立CH数**　：2
⑷　**伝搬路数**　：12
⑸　**遅延時間**　：0～200 μ sec，0.0005 μ secステップ
⑹　**パス間相対レベル**　：0～30dB，0.1dBステップ
⑺　**瞬時変動**　：レイリ変動，ライス変動
⑻　**最大フェージング周波数**　：0～800Hz，0.1Hzステップ
⑼　**相関係数**　：0～1，0.01ステップ
⑽　**ダイナミックモード プロファイル切替時間**　：4～60000msec，1msecステップ
⑾　**ダイナミックモード プロファイル数**　：最大100（オプションにより最大20000に拡張可能）

3GPP対応フェージングシミュレータ　JEM-59A
Fading Simulator for the Third Generation Partnership Project（3GPP）

⑿　**電源電圧**　：AC100/200Vフルレンジ，50/60Hz
⒀　**外形寸法**　：425（W）×199（H）×550（D）mm
⒁　**質　量**　：23kg

NJZ-1610A C/Nシミュレータ

⑴　**動作中心周波数**　：820～960MHz，1700～2500MHz
⑵　**独立CH数**　：2
⑶　**入力レベル範囲**　：0～－55dBm
⑷　**C/N設定範囲**　：－30～＋60dB，0.1dBステップ
⑸　**C/I設定範囲**　：－90～＋60dB，0.1dBステップ
⑹　**電源電圧**　：AC100/200Vフルレンジ，50/60Hz
⑺　**外形寸法**　：425（W）×199（H）×550（D）mm
⑻　**質　量**　：27kg

標準構成

マルチパスフェージングシミュレータ	NJZ-1600B	1式
C/Nシミュレータ	NJZ-1610A	1式
取扱説明書		1式

お問合せ先　通信機器事業部　情報通信営業部
電話　03-3584-8822